

# ま ん さ く

2018 Autumn | <https://www.niimi-c.ac.jp>



Niimi University

【特集】1学部3学科(地域福祉・健康保育・看護)完全4大化をアピール

## 2018年度 オープンキャンパス

各学科から

健康科学部看護学科  
助産学専攻科・大学院  
幼児教育学科  
地域福祉学科

同窓会だより

同窓会報告・同窓生の近況

学生だより

近況報告

News & Events

教育支援センター開設  
行事予定 ほか

### 第20回鳴滝祭

5/12・13に第20回鳴滝祭を開催しました。初日は大人気お笑いコンビの「ANZEN 漫才」さんが来学。天候にも恵まれ、大いに盛り上がりました。2日目はあいにくの雨天でしたが、学生手作りの各ブースにはたくさんのお客様が来ていただきました。



### オープンキャンパス

7/15・16、そして8/25にオープンキャンパスを開催しました。特集ページで詳しくご紹介します。



### 短期大学最後の入学式

4/8、新見公立短期大学としては最後となる入学式が執り行われました。短期大学の有終の美を飾ることとなる新入生95名が、新しい学びをスタートさせました。



学長が1学部3学科の概要について説明しました。



7月15日(土)と16日(日)にオープンキャンパスを開催しました。西日本豪雨の直後で開催も危ぶまれましたが、参加を予定してくださっている高校生や保護者の方がいるなら、と開催決行。猛暑の中、大勢の皆さまにご参加いただきました。また、災害の影響で参加することができなかった方がいらっしゃるのでは、ということで急遽8月25日(土)にも追加開催しました。急な開催決定で十分にご案内もままありませんでしたが、それでも当日は予想以上に多くの参加者が来てくださいました。



新見公立大学って  
どんな大学？

2018年度

1学部3学科 (地域福祉・健

OPEN CA  
オープン

キャンパスライフって  
どんな感じ？

## 学生目線での学生生活紹介!!

看護学科3年次生 岡田 茜

私は7月15、16日に行われたオープンキャンパス(以下、OC)で学生による学生生活紹介のプレゼンテーションを担当しました。高校生の頃、私自身OCに参加させて頂き、大学選択の決め手になったことから、次は運営側としてOCに関わりたいと思い、入学以来3年連続で従事しています。

学生生活紹介は、後輩と4人で力を合わせてスライドを作成し、当日は2人でプレゼンテーションを行いました。学生目線での学生生活紹介であり、楽しさが伝わるように発表者同士の掛け合いをアドリブで行い、堅苦しくない雰囲気を出していきました。参加して下さった高校生から、「楽しそうだった。ここに入学したい想が強くなった」という声を頂き、私達の気持ちが届いたのだと嬉しく思いました。10月のOCでも大学の良さをアピールしていきたいと思います。



## 介護体験コーナー

地域福祉学科1年次生 村上 真奈・山本 愛奈

私たちはオープンキャンパスのスタッフとして、介護体験を行いました。介護体験では、来てくれた高校生へ福祉用具の使い方について説明したり、iPadを使って立ち上がりの仕組みを説明したりしました。その中で私たちは、スライディングシートの担当をしました。まず、スライディングシートの仕組み、どのような場合にどのような状態の方に使うのか、使用時の注意点などを説明した後、実際に体験してもらいました。最後には、高校生と楽しく話をすることもでき、少しでも介護のことや大学生活について知ってもらえたと思います。また、説明するために詳しく学習し、使い方の練習をしたことで、私たちもより学びを深めることができました。



## 茶話会を行いました!!

幼児教育学科1年次生 東郷 結佳

オープンキャンパスには、豪雨災害後で交通状況も悪い中、高校生や保護者の方々が参加して下さい、和やかな雰囲気の中で茶話会を行うことができました。私たち学生は、日頃の授業の様子や1日の流れ、学生生活の様子などについて積極的にお話をさせていただきました。今回来てくださった高校生の皆さんが私たちの後輩になるのかなと考えたら、自分ももっと頑張っていこうと思え、良い刺激を貰うことができました。



何を学べるの？

康保育・看護) 完全4大化をアピール

# MPUS 開催!

キャンパス

入試の傾向と  
対策は？



先生や先輩の  
雰囲気は？

新見公立大学をより深く知っていただくため、さらに10月27日(土)・28日(日)の日程でオープンキャンパスを開催します。学科紹介、模擬講義、実習体験、在学生とのフリートーク、個別なんでも相談コーナーなど、多彩なイベントでご案内します。本学の雰囲気を肌で感じる良い機会です。高校3年生だけでなく、中高生、保護者、教員の皆さまもお気軽にご参加ください。



# 健康科学部看護学科

## 基礎看護学実習 I を体験して

看護学科1年次生 久保田 志緒

私は、今回の基礎看護学実習 I の前に立てた、医療現場の雰囲気を感じて今後の勉強に生かす、看護師の仕事を理解する、患者さんとのコミュニケーションのとり方を学ぶという3つの目標を、実習を通して達成することができました。さらに、“患者さんの不安を少しでも取り除き、高度な技術と幅広い知識を持っている看護師”という私の目指す看護師像も明確にすることができ、“看護師になりたい”という気持ちが強くなりました。私が理想とする看護師に近づくために、これからの4年間で、基礎知識・技術はもちろん、高度な知識・技術、さらには応用力や高いコミュニケーション能力を積極的に身に付けていきたいと考えています。



## 美しくりたい気持ちを…

看護学科2年次生 長田 茉莉・藤本 沙耶

老年看護学援助論で車いすに乗って市内を移動するバリアフリー体験学習を行いました。訪問した美容室にはワンストップブースという個室が設けられており、利用者は一連のサービスをその個室で受けることができます。体験させていただきましたが、移動の必要が無いのでとても快適でした。お店の方も車椅子の扱いに慣れておられるので、安心して利用できました。演習前は、私たちの生活では当たり前のことでも高齢者や障がい者にとっては利用しにくいことが多いと思っていました。しかし、「いつまでもきれいでいたい」という気持ちを少しの工夫でだれもが叶えられることを実感できました。



## 実習を終えて

看護学科4年次生 萩原 麻子

私が一番印象に残っている実習は、母性看護学実習です。なかなかお産が進行しない、しんどそうにしている産婦さんに対して学生として何ができるかを考え、足浴を実施しました。次の日に「学生さんのおかげであの後すぐに赤ちゃんが産まれました。本当にありがとう。」と言われ、私のケアが直接出産に繋がったのかは分かりませんが産婦さんに気持ちが伝わったと感じ、とても嬉しかったです。産婦さんは、自分のためにしてくれていることやその思いを敏感に感じ取ってくれており、だからこそ丁寧な関わりがとても大切だと感じました。看護師になったら、一人ひとりの患者さんとしっかり向き合い、関わっていきたいと思います。



### 新任教員紹介



看護学科・助教  
中井 かをり  
母性看護学

### はじめまして

4月より母性看護学領域の助教として着任いたしました。私は、香川県小豆島で生まれ育ちました。学生時代を関西で過ごし、看護師・助産師の国家資格を取得しました。そのまま関西で助産師として30数年間、産科領域で母児に関わってきました。助産師としての経験の中のほとんどの時間で大学や大学院の看護学生・助産学生の指導もしてまいりました。

大学の教員として仕事するのは初めてです。分娩は、どんなアクシデントが飛び出すかわからないといった緊張もありますが、未来を担う新生児の誕生は感動的で素晴らしく、医療従事者にパワーを与えてくれる場面です。新生児を迎えるご家族と新しい命の誕生を祝うことのできる母性看護学の良いところを学生たちに理解し、楽しんでほしいと思っています。学生の皆さんから学ぶことも多々あると思われれます。よろしくお願いたします。



# 助産学専攻科・大学院看護学研究科

## 理想とする助産師像

助産学専攻科4期生 大導寺 栞

7月から実習が始まり、講義や演習で勉強したことを実践と結びつけながら、多くの学びを深め、ケアや技術の深さを知る日々が続いています。助産師は、妊娠前から出産後まで幅広い分野の知識や技術を身に付けることも大切ですが、重要なことは、妊産婦の不安や辛さに寄り添うことであると学びました。また、安全・安楽な出産や安心して産後の生活を迎えて頂くためには、多くの不安を抱く妊娠期からの継続した関わりが大切であり、信頼関係を築くことが重要であることも学びました。これらのことから、いつでも気軽に声がかけられ、そばにいてだけで、安心感を得て頂けるような助産師になりたいと私は強く思っています。



## 新任教員紹介

助産学専攻科・助教  
百田 由希子  
助産学



よろしくお願いいたします。

4月より助産学専攻科の助教として着任いたしました。これまで、広島生まれの広島育ち、初めての一人暮らしで、自分時間をどう活用して良いのか戸惑っております。ですので、週末には広島に帰り、家族のpowerをもらい、また、時間のある時には、倉敷や新見に呼び寄せ、新しい土地での美味しいものや観光を楽しんでおります。

臨床では、産科、呼吸器外科・内科、小児科や保健師などを経て、大学院で母子関係の研究をしております。自分の得意分野を生かし、学生たちが、学生たちの力で成長できるよう、微力ながら貢献していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 面白い、役に立つ講義の紹介

大学院看護学研究科1年次生 勢村 陽香

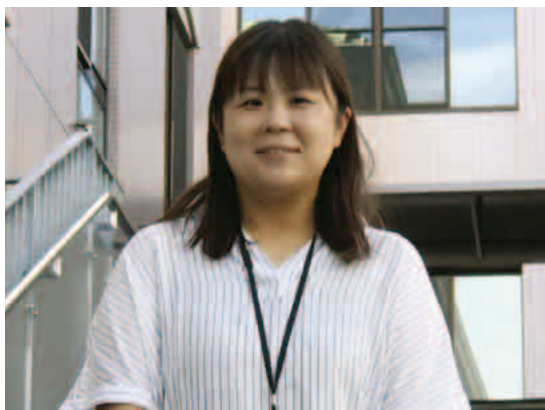
本大学院の講義の中で印象的だった、療養支援看護学特論を紹介したいと思います。質の高い療養生活を可能にするための地域医療連携を理解し、対象者の健康や療養生活の包括的支援について検討することを目標としています。大学院教員からだけでなく、実際に新見の地域医療を支えている医師や理学療法士などからも講義を受けました。遠隔医療支援システムの構築や在宅医療連携ネットワークの実際、多職種連携による包括的支援など、少子高齢化の最先端を行く新見市での取り組みについて、現状と課題を討議しながら学修でき、貴重な講義でした。臨床から地域を包括する広い視野をもつことが重要であり、それを踏まえて専門職としての役割や機能を生かすための実践へと繋げていきたいと思っています。



## 入学してからの新しい発見

大学院看護学研究科1年次生 桑原 ひとみ

大学院に入学して「看護を語る」ことの大切さに気づきました。私は診療所看護師として働いていますが、これまで忙しい日々の業務に追われ、自分の看護についてゆっくり考えることがなかったように思います。しかしそれぞれの授業や研究に取り組む際に自分の看護を振り返り、先生や仲間と語り合うことで深まる診療所看護師への思いを実感しています。仕事と家庭、学業の両立は思った以上に大変ですが、職場の方や家族、友人、先生方に励まされながら頑張っています。でも一番の心の支えは「母さん勉強してすごいね」と言ってくれる子供たちの笑顔です。



# 幼児教育学科

## プチコンセールに参加して

幼児教育学科1年次生 今川 瑞穂



今回初めてプチコンセールに参加しました。1年生全員が初めての中、グループで一から色々考えて工夫していくのは大変でしたが、当日までに練習していたことが本番でできていたと思います。人前で発表することの難しさを身に染みて感じました。私は、当日のプチコンセールで2年生の先輩方の発表に圧倒されました。クオリティはもちろんのこと、演技や演奏をしているときのこっちまで楽しくなるような工夫が、ただ純粋に「すごい」と感動させられ、来年先輩のようになれるだろうか、と不安にもなりましたが、これから学んでいくことに改めて期待と楽しみが膨らみました。とても充実したプチコンセールになったと思います。

## 保育実習を終えて

幼児教育学科2年次生 越智 花梨

保育実習を終えて、子どもたちの成長に寄り添う先生方の姿を拝見し、改めて保育士という仕事の偉大さを実感しました。保育実習を通して、遊びや生活の中で子どもたち一人ひとりの気持ちを受け止め、理解することの大切さを学びました。今後は得られた学びや反省をもとに次への成長に繋がられるよう努めていきたいと思っています。また、施設実習を通して、子どもにとっての家庭の重要性を再認識することができたので、保護者との連携を図り、子どもたちの安全基地をともに築いていけるような保育士になりたいと思います。



## 新見で学んで半年

幼児教育学科1年次生 山野 基世

私が新見公立短期大学に通って最初に感じたのは、人との繋がりで。この大学は様々なところから保育者を目指して人が集まっていて、友達出来るか不安でした。しかし、出身地が違うだけで他のことは殆ど話が合うし、目指していることも同じで、気が合わないわけがないことに気付きました。また、先輩と交流する機会があったり一緒にボランティア活動を行ったりできるので、サークルに入れなくても先輩と関われるのはとても良いことだと感じます。そして、大学の先生と密に関われるのもこの大学の特長だと思います。先生方と話をすることで、今の段階から就職へ向けての心積もりができて、忙しいけれど充実した大学生活を送れていると感じます。



## 「にこたん」の活動に参加して

幼児教育学科2年次生 堀江 美卯



私は、学生スタッフとして様々なイベントに参加させて頂く中で、保育所等での実習では見ることでできない、保護者同士の関わりを見ることができました。自分の子どもについて相談しあう様子や談話する様子、ママさんスタッフの方々が協力してにこたんのイベントを盛り上げておられる様子を何度も見させて頂きました。私は、保護者の方はとても生き生きとした表情で子どもと関わっておられるように感じました。このことから私は、子どもと保育者、保護者と保育者だけでなく、保護者同士の繋がりも大切にしていってほしいと感じました。将来、保育士として働き始めた時、この経験を生かして、保護者同士の関わりを築く手助けができればいいなと思っています。



## 高尾交流会での学び

地域福祉学科1年次生 正岡 洋平

私たち地域福祉学科1年生は2グループに分かれ、授業の一環で高尾地区の方々と交流しました。私のグループは水鉄砲のつくり方を教わりました。高尾地区の方々は子供の時から錐やノコギリを使われており、使い方に慣れていらっしゃいましたが、私たちはあまり使ったことがなく苦労しました。高尾地区の方々の子供の時は外で遊ぶことが多かったようで、私の子供の時は家でゲームばかりし、外で遊ぶことが少なく、世代間の違いを感じました。この世代間の違いを理解しつつ、少しでも埋めることができるように、地域の方々とさらに交流していく必要があると思いました。今後はボランティアなどに積極的に参加していきたいです。



## 障がい者施設のボランティアに参加して

地域福祉学科2年次生 別所 昌明

私は新見市障害者地域活動支援センター『ほほえみ広場にいみ』で毎週日曜日に開催される『ほほえみサンデー』に参加しました。『ほほえみサンデー』には普段作業所などで仕事をしていたり、障害者施設などを利用されている様々な利用者さんが参加されています。

毎回様々な催し物があり、料理を作ったり、体を動かしたりしています。私が参加させていただいたのは卓球大会でした。卓球大会はトーナメント形式で行われ、私の他に8人の地域福祉学科の学生が参加し、審判、得点係、ピンポン玉の回収係などの役割をしました。利用者さんも17人参加され、勝った方は笑顔になって喜んだり、負けた方は悔しがったり、応援している方は大きな声で応援したりと1戦1戦熱狂した戦いが行われていました。私たちは審判などをしていない時は利用者さんと話をしたりして交流もできました。

介護実習とは違った良い体験となりました。



## 戦争体験の特別講義を聴講して

地域福祉学科1年次生 有吉 香乃

私は、これまで体験された人の目線から戦争を考えたことがありませんでした。

森光さんのお話を聞いて印象に残ったことは何十年も昔の出来事を詳しくお話されていたことです。実体験をされたことで頭から離れない戦争の光景や音、感情等があることを知りました。また、軍入隊後のお話も印象的で、上官から何も知らされないまま過ごす毎日は、とても不安だったろうと想像しました。

「戦争は人権を無視したものだ」と森光さんは言われました。上官からの「おまえの命ははがき1枚」という言葉も、決して人の命をはがき1枚に例えて語ることはできないと思います。戦争では大切にしなければならないことが無視されてきたのだと感じました。

続いて、娘さんから森光さんの奥さまが復員時に経験された話を聞きました。現地の兵隊が「女を出せ。出せば汽車は動く」と脅し、乗客は女性を隠しましたが汽車は動かず、諦めたように3人の女性が汽車から降り、その後、叫び声が聞こえたと言います。同じ人間なのに起こる女性への暴力や差別にとっても悲しい気持ちになりました。

最後に、森光さんから「人を思いやる心」「他人を大切に」「他人のことを考えて行動する」という言葉を聞いた時、介護福祉士をめざす私は、人を支える上で基本とすべき言葉だと思いました。これから出会う人のことを知り、大切にしたいと思います。



自らの戦争体験を語る森光さん(左)と娘さん(右)



第26回

母校自慢

## 愛媛県立 新居浜西高等学校

地域福祉学科1年次生 鈴木 楓唯

昨年度創立百周年を迎えた新居浜西高等学校は瀬戸内海と赤石山系に囲まれた伝統のある学校です。私の母校は文武両道の高校で、国公立大学に進学を目指す環境が整っており、また部活動では陸上競技部や弓道部、合唱部、放送部などが全国大会にも出場しています。

学校行事では全て生徒が主体となって運営し、学年の壁を越えた繋がりが出来たり、行動に移す力を養えたりします。特に、体育祭の構成や演出、指導をし、なかでも百人単位で行う応援合戦は名物です。

同じ目標をもった友人や、背中を押してくださる先生方に出会い刺激をし合える関係が作れました。介護福祉士を目指す者として人との出会いを大切にしていきたいです。

# 同窓会 だより

同窓生の近況を  
報告します。



同窓会事務局からのお知らせ

## 同窓会開催のお手伝いをします

卒業生の皆様が同窓会を開催される際、大学がそのお手伝いをさせていただきます。

学部・学科と卒業年度及び開催時期などを本学学務課へお知らせいただければ、同窓会の案内を発送し、出欠を取りまとめ、同窓会幹事へ連絡をします。同窓会を企画されている幹事の皆様、ぜひご連絡をください。

- 事務局が案内した同窓会（前号以降）  
・看護学科29期生／7月21日(土)／岡山市

## ご寄付をいただきありがとうございました

本学創立40周年に向け同窓会への寄付をお願いいたしましたところ、多くの同窓会員の皆様から多額のご寄付をいただき、誠にありがとうございました。

平成30年5月末日現在、個人208名、2団体から総額612,620円のご寄付をいただきました。皆様のご寄付に対しまして心よりお礼申し上げます。

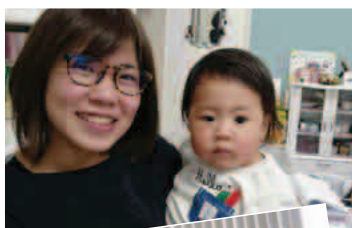
今後とも、会員相互の交流を深め、絆を強め、活発な同窓会活動を行うため、同窓会員の皆様のご寄付を引き続きお願いいたします。

## 2017年度 同窓会評議員会が開催されました

去る5月12日(土)、2018年度新見公立大学・短期大学同窓会評議員会が本学で開催されました。当日は評議員14人と本学から公文学長外5人が出席し、昨年度の事業報告、決算報告及び本年度の事業計画(案)、予算(案)を審議し承認されました。また、学長から大学改革の構想についての説明、新棟建設についてのお話がありました。

同窓会評議員会終了後、評議員の皆様には学長等との会食や大学祭“鳴滝祭”を楽しんでいただきました。

なお、評議員会は本学の大学祭“鳴滝祭”開催日にあわせて例年開催していますので、評議員の皆様、来年はぜひともお越しください。



## 多くの卒業生が 来学してくれています!!

恩師や母校を懐かしんで訪れてくれるだけでなく、後輩たちへの激励や職場での研究活動における助言・指導を得るため、結婚する友人へのサプライズ動画撮影など、様々な目的で母校に帰ってきてくれています!



## 新見公立大学ふるさと育英奨学基金(給付型)

本学は、新見市の「ふるさと納税(ふるさとにのみ応援基金)」制度を活用した新しい給付型奨学金「新見公立大学ふるさと育英奨学基金」を2019年度の改組(短期大学の四大化)にあわせて創設します。この給付型奨学金を活用して、看護・保育・福祉を学びたいと考えている優秀な学生を応援し、保健福祉の人材を育成したいと考えています。

今後、皆さんからの寄付金をもとに、「給付型学生奨学金制度」を運用していきます。母校への寄付が、保健福祉をリードする人材の誕生を支えます。母校で学ぶ後輩の夢を応援してください。

2018年8月末現在、ふるさと納税制度を利用し、本学に対し133件、計4,656,571円のご寄付をいただいています。誠にありがとうございました。引き続き多数の皆様からのご協力をお願いします。

### ふるさと納税

ふるさと納税は、自分と関わりが深い地域を応援したいという思いを生かすため、地方公共団体に対して寄付を行った場合に、所得税と個人住民税が軽減される制度です。

### お申し込み方法

#### A. インターネットからお申し込み

○新見市ホームページの「電子申請サービス」からお申し込みできます。

新見市ふるさと納税ホームページ

[https://www.city.niimi.okayama.jp/kurashi/kurashi\\_detail/index/1259.html](https://www.city.niimi.okayama.jp/kurashi/kurashi_detail/index/1259.html)

○ふるさと納税サイト「さとふる」からお申し込みできます。

さとふる新見市ふるさと納税ホームページ(クレジットカード等でできます)

<https://www.satofull.jp/city-niimi-okayama/>

#### B. 郵送、FAX、メールでのお申し込み

学報「まんさく」に同封しました「新見市ふるさとにのみ応援基金 寄付申出書」に必要事項を記入してください。その際に寄付金の使途目的を『ゆたかな「文化のまち」』に指定し、「うち新見公立大学・短期大学」に寄付金額を記入してください。記入後は、郵送(岡山県新見市新見310-3)またはFAX(0867-72-6243)またはメール(kikaku@city.niimi.lg.jp)で新見市役所企画政策課へ送ってください。

【お問合せ先】 新見公立大学・短期大学事務局学務課 TEL:0867-72-0634

2019年4月から新見公立大学健康科学部1学部3学科体制になり、創立40周年2020年に新たに新棟が完成します。

1980(昭和55)年



1996(平成8)年



1998(平成10)年



2008(平成20)年



2013(平成25)年



2020年  
新棟完成予定



# 学生だより

## 機能別消防団

大久保 咲希 健康科学部 看護学科4年次生

私は機能別消防団員として1年時から活動しています。主な活動内容は広報活動で、年に数回の活動があります。広報活動では火災予防週間などの時期に合わせてスーパーでの呼びかけや消防団で呼びかけながら地域を回ったりします。夏休みの時期には子どもを対象にした消防フェアが開催され、その手伝いも行います。訓練に参加することもあり、2年時には高梁川流域の地域の様々な職種が集まって行う、災害を想定した大規模な訓

練に参加し、貴重な体験をすることができました。また、私は機能別消防団に属するラッパ隊にも所属しています。ラッパ隊では毎週水曜日に練習を行っています。初心者なので難しさもありますが、少しずつ吹けるようになり楽しく活動しています。ラッパ隊の活動では出初式や操法大会にも参加しています。ラッパ隊に入ったことで機能別消防団としての活動の幅も広がり、やりがいをもって活動しています。



## 新見市豪雨災害募金活動に取り組んで

原 京香、林田 優、山野 基世  
幼児教育学科1年次生



今回の新見市豪雨災害募金活動ではたくさんの市民の方々からのご協力を得ることができ、人と人との「繋がり」をとっても感じる事ができました。「頑張ってるね」という言葉をいただいたり、小さい子どもも募金をしてくれた時はうれしくて、みんな笑顔になりました。募金活動のメンバーに阪神淡路大震災の地域の出身者もいて、今度は自分が困っている

誰かの力になれたということも大きな喜びでした。親子に自然と手をさしのべられるような保育者になるために、募金活動を「やってあげる」という目線ではなく、「一緒に」笑っていられる未来のことを考えながら、これからも精一杯取り組んでいきたいと思えます。

## 災害ボランティアに参加して

蕪木 亮太、山本 祐輔  
地域福祉学科1年次生

西日本豪雨から数日後の7月10日に新見市災害ボランティアに参加しました。私たちのグループは、旧唐松小学校で豪雨で使えなくなった家具などを分別し、処理する作業を行いました。持ち込まれた災害ごみの山を見て唖然としました。中には畳や家電、ベッドまで捨てられていました。大雨で家の中まで浸水するなんて想像もできませんが、屋根の近くまで水が押し寄せた地域もあったそうです。幸いに私たち学生は、特に大きな被害もなく済みましたが、同じ新見市内で被害に遭い、生活が根こそぎ奪われてしまった方がいると思うと他人事とは思えませんでした。

正直な話、初めは「先生に頼まれたからやろう」と軽い気持ちでボランティアに臨みましたが、時間が経つにつれ気持ちが変わり、少しでも被害に遭われた方々の力になればと、気づけば時間を忘れて黙々と作業をしていました。ほんの数時間の活動でしたが、役に立てたのであれば嬉しく思います。

活動を終えて、今回の豪雨を機に災害の恐ろしさを改めて感じました。日本に住む全員が災害への意識を高め、前々から備えておけば被害をもっと抑えられると思いました。今回、災害に遭われた方々の思いが全国の災害意識を変えるものになってほしいと願います。



別の場所で家屋の片付けを行う学生





# News & Events

学内のお知らせ  
イベント案内

## 2019年度入学者選抜日程

2019年度入試より、出願方法がインターネット出願になります。※助産学専攻科と大学院は除きます。

### 【大学】

#### ■健康科学部

入試区分	実施学科	出願期間	試験日
推薦	地域福祉学科	2018 11/26(月)-11/30(金)	2018 12/13(木)
	健康保育学科 看護学科	2019 1/21(月)-1/25(金)	2019 1/31(木)
一般(前期日程)	全学科	2019 1/28(月)-2/6(水)	2019 2/25(月)
一般(中期日程)	地域福祉学科		2019 3/8(金)
一般(後期日程)	健康保育学科 看護学科		2019 3/12(火)

#### ■助産学専攻科

入試区分	出願期間	試験日
一般	2018 10/29(月)-11/5(月)	2018 11/17(土)

### 【大学院】

#### ■看護学研究科

入試区分	出願期間	試験日
一般・社会人特別(後期)	2019 2/13(水)-2/20(水)	2019 3/2(土)

## 行事予定

日程	内容
2018年10月12日(金)	看護学科 卒業研究発表会
2018年12月8日(土)	幼児教育学科「ゆめのぼけっと」
2019年2月16日(土)	地域福祉学科「地域文化演習発表会」

## 教育支援センターを開設しました。

教育支援センターでは、教育に関する理論的及び実践的な教育研究の指導・支援、学生の教育・保育実習や教育・保育実践に関する指導・支援、気になる子どもに関する相談・支援を行うとともに、学校教育・家庭教育・子育て等に関する相談に応じて支援を行います。現場経験豊かな教員が、皆さんの訪問を待っています。豊かな学生生活の実現と、全ての子ども達の幸せを、本センターは目指します。



## 新見公立大学ふるさと育英奨学金制度の創設

経済的理由で修学困難な学生が安心して学べる環境を整えることにより、愛校心にあふれる優れた人材を育成することを目的として、2019年度より本学独自の給付型奨学金制度を創設します。

制度名	種別	採用人数	金額	内容
新見公立大学 ふるさと育英 奨学金	給付	地域福祉学科 4人	10万円 (年額)	本学に入学を許可された学部生の内、入試成績が優秀であり、かつ、本学が定める家計基準等を満たした学生に給付します。 ※入試種別ごとに選考します。
		健康保育学科 4人		
		看護学科 5人		

詳細についてはお問い合わせください。

新見市の「ふるさと納税(ふるさとにのみ応援基金)」制度を活用した給付型の奨学金制度です。皆さまからの寄付金を基に運用していきます。今後とも、福祉・保育・看護の専門職を目指す後輩の夢を応援してください。

## 新見公立大学・短期大学「地域共生推進センター棟」建設事業にかかる募金のお願いについて



現在、新見公立大学・短期大学「地域共生推進センター棟」建設工事に取り掛かっており、2020年4月からの供用開始を予定しています。

この事業で、地域共生推進センター棟内で使用する施設備品等の整備に多額の資金を必要とし、本学卒業生をはじめとする関係各位に広く募金をお願いしているところです。

つきましては、出費多端の折、誠に恐縮に存じますが、趣旨をご理解いただき、施設備品等整備事業募金への協力方、よろしくごお願い申し上げます。振込の際は、同封の払込取扱票をお使いください。

# まんさく

2018年9月号  
Vol.56 (Autumn)

編集  
後記



平成時代最後となる今年の夏は、自然災害が多い大変なことになってしまいました。平成30年7月豪雨（西日本豪雨）は、岡山県を始め西日本一帯に甚大な被害をもたらし、さらに、北海道胆振東部地震も起こり、土砂崩れを始め北海道全域が停電するというかつてない被害が発生しました。本学の教職員及び学生も募金活動や災害ボランティアとして微力ですが復興支援に参加いたしました。皆さまの中にも、被害に遭われた方がいらっしゃるのではないかと心配しています。いつもは当たり前だと思っている日常の生活こそが実は感謝すべきものであったことを改めて感じさせられました。被災された方々が一日も早く今までの生活に戻れることを心より願っています。

さて、本学は、来年4月より、短期大学の幼児教育学科と地域福祉学科が4年制となり、健康科学部健康保育学科及び地域福祉学科として新たな歩みを始めます。そして、健康科学部3学科（地域福祉・健康保育・看護）が協働し、本学が位置する日本の中山間地域における課題を克服するために多職種連携の研究と教育を実践的に進めていく所存です。

新校舎の造成工事も始まり、教職員一同、オール新見公立大学として、より地域に根差した愛される大学を目指して、新たな出発の準備を進めているところです。

今後とも、卒業生の皆さま、地域の皆さまには、変わらぬご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。（梶本）

発行

新見公立大学・新見公立短期大学

〒718-8585 岡山県新見市西方1263-2

TEL.0867-72-0634

FAX.0867-72-1492

URL: <https://www.niimi-c.ac.jp/>

編集

広報委員会

広報部長

梶本 佳照

広報委員（50音順）

敦田 伸吾 岡本 直行 加藤 由美  
佐藤 伸隆 棚田 裕二 羽場 裕倫  
平田 智子 藤田 彩見 山内 圭  
山本智恵子

## 人事異動

### ごくろうさま

#### 〈退職〉

健康科学部助教 中山 亜弓  
健康科学部助手 飯田 直美  
幼児教育学科教授 安達 雅彦  
※4月から特任教授として就任  
地域福祉学科講師 大竹 晴佳

#### 〈転出〉

事務局次長兼  
総務課長 小郷 敏男  
学務課主査 高西 優男



### どうぞよろしく

#### 〈新採用〉

健康科学部助教 中井 かをり  
健康科学部助教 百田 由希子  
教育支援センター  
特任教授 黒山 靖弘

#### 〈転入〉

事務局次長兼  
総務課長 宮崎 忠司  
学務課主査 敦田 伸吾  
学務課主事 真治 将史

#### 〈昇格〉

健康科学部講師 安田 陽子  
幼児教育学科講師 三好 年江  
総務課課長補佐 杉井 靖和  
学務課参事 古家 孝之  
学務課主査 若本 美津子

## 出身都道府県別在籍者数 (2018年5月1日現在)

(単位:人)

	大学					合計	大学院					合計														
	看護学科				助産学専攻科		看護学研究科				地域福祉学科		幼児教育学科													
	1年	2年	3年	4年			1年	2年	1年	2年				1年	2年											
北海道	1	1				1					3	岡山県	6	10	13	12	6	3	9	7	13	6	10	95		
岩手県				1							1	内新見市	1	2	2	1	4	2	2	3	6	1	5	29		
宮城県	1										1	広島県	10	8	10	3					4	4	7	6	52	
茨城県		1									1	山口県	2	2	2	3					3	2	1	1	16	
東京都				1							1	徳島県	5		4	2							1	3	15	
石川県		1		1							2	香川県	1	1	1	3							1	1	8	
福井県		1									1	愛媛県	8	3	1	1						2	2	14	13	44
長野県		2		2							4	高知県		1	1	3							1	1	7	
岐阜県		1		2							3	福岡県		2	1	2					2				7	
静岡県	1		2	2							6	佐賀県	1		1							1			3	
愛知県		2	1							1	6	長崎県	1	2	1										4	
三重県		2									2	熊本県			1							1	2		4	
京都府	2	1	4	1			1		4	1	14	大分県	2	2											4	
大阪府	1		1	1					1		4	宮崎県	1		1							1	2		5	
兵庫県	13	14	7	15			7	13	11	5	85	鹿児島県	1		1	1							1	2	6	
和歌山県	1			3			1		1	6	6	沖縄県			1										1	
鳥取県	1	2	3	3			6	3	3	2	23	計	66	64	62	66	6	3	9	40	52	54	54	476		
島根県	7	5	5	4			4	8	3	8	44	各学科計	258				6	12		92		108		476		

## 布原(苦坂峠)

吉田泰男 作 1981年 油彩

学内美術鑑賞



秘境駅「布原駅」で知られる山間の地を描いた油彩画。大きく下る地形のダイナミックさが色と描画技法、構図によって巧みに表現されている。紅葉も終わりを告げ、厳しい冬の到来を感じさせる寂しげな景色の中に松の木2本が青々と立つ様が印象的で、自然の雄大さや逞しさなどを感じさせる。近景を簡素な色彩で平面的に、遠景を点描で繊細に表現し、遠近感や空気感を生みだしている。

(幼児教育学科准教授(造形):岡本直行)